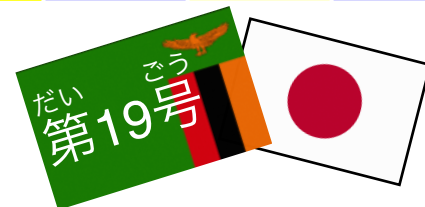


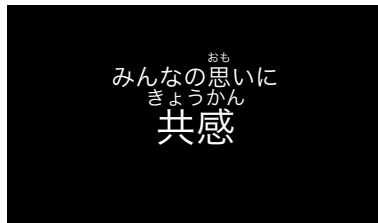
# ザンビアダイアリー



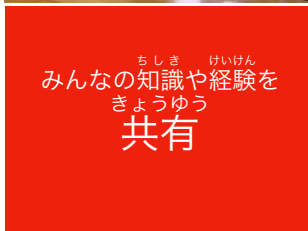
きょういくぶんかかい  
教育分科会

いぶんか かつどう かん きょう たいせつ  
異文化のアフリカで活動したからこそ感じた 3つの「共」の大切さ。

ザンビアのそれぞれの学校で活動するみんなと一緒に、教育分科会というチームをつくり、助け合っています。定期的に集まり、学校や授業で気づいたことや工夫していることなどを紹介し、お互いの活動を充実させようという前向きな気持ちで、会を進めています。時にはゲストを招いて、途上国の教育についての勉強もしています。



学校で活動する隊員は、主に算数や理科、体育、ICTなどで、先生と協力して授業しています。学校・家庭・地域が協力して子どもたちを育てているので、子どもたちの家族の農園や商売、家計、健康や衛生面なども関係してきます。ザンビアには、教育以外にも、保健、農業、経営などいろいろな場で活動している隊員がいます。そのため、他の分科会に参加して勉強したり、診療所で活動する隊員と協力し保健や健康の授業をしたりしています。それぞれの得意なことを生かし助け合って活動を進めています。



「私のいる地域に学校に通っていない子どもがいる。」ある隊員のこの言葉を聞き、関心をもった分科会の仲間たちが集まりました。上の写真は、その地域を見学をした様子です。直接、子どもたちや学校の校長先生、病院のスタッフから話を聞くと、お金や家庭の事情により、学びたくても学校に行くことができないということを知りました。今の私たちにできることはないか、話し合っています。



発行：JICA 海外協力隊 大澤 明浩

2018年7月～2020年7月 チャールズルワンガ初等学校/モンゼ/ザンビア共和国

次回は『日本との交流①』を紹介します。